秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪

ねんりん秋田に監督として参加して

ねんりん秋田選手団　監督　越野　義弘

５月１８日ゆーリンピック石川弓道交流大会が１０５名の参加を得て開催され、その成績を基に県連会長、副会長、ゆうゆう四役でねんりんピック秋田２０１７弓道交流大会派遣選手団が結成されました。ねんりんベテランの川瀬先生、高島先生、初参加の松平さん、桶谷さん、小坂先生五人が交流大会参加選手、蔦井先生、藤田先生が交歓試合出場の交替選手、監督は私、越野、引率は越川裕一さんの９名の選手団です。

選手団決定後、６月より毎月二回、計７回の強化稽古会を松任弓道場にて行い、
秋田大会に備えました。稽古会では本番を想定し、座射にて８射の競射を行い、時間がとれました時には川瀬先生の臨時射技講習を行って頂き選手団の和が深まって参りました。

９月８日には県庁を９時過ぎに出発、男鹿観光ホテル到着は１９時半、翌日開会式に向け、7時ホテル出発、ゆうゆうの会員には少し過酷な日程でしたが、参加者全員元気に総合開会式に臨みました。

総合開会式での選手宣誓で（生きがいを持ち、元気に暮らす私達の姿を通して元気に年を取る素晴らしさをすべての世代に伝えて行きます）と宣誓されたのが印象的でした。また開会式でのイベントでの訳３０基近い竿燈が会場いっぱい乱舞する様は壮観でした。

秋田県立武道館弓道場は２００４年竣工の屋内弓道場で間口（１２人が１８０cm 間隔）も奥行きも有り、空調完備の道場で、大会の立ち順に並べられた控え室の大道場も大画面で射場が写され、臨場感が有り素晴らしく、他の県の方々とも交流しやすい作りでした。

参加は６７チーム、４５２名の参加者でしたが、秋田県弓道連盟の方々の心の籠った運営に気持ちよく行射出来ました。ただ矢飛び、矢所が見えなかったのが残念でした。

成績は初日２０射７中、２日目５中,予選通過ラインの１９中に遠く及びませんでしたが、交歓試合に出場した蔦井先生の敢闘賞が光ました。選手団結成以来、チームの和、射技、体配の向上に努めて参りましたが、まだまだ私の力量不足を痛感致しました。

ただねんりんピックの主目標である交流を深めるとのことについては、２０年ぶりに愛知県の弓友に会えたこと、他、私の出身である静岡県を始め、東京、岐阜、福井、富山、京都等多くの弓友と交流を深め、楽しい時間を過ごせましたこと、たいへん楽しく、心に残る大会となりました。ねんりんの大会は他県の選手に話しかけ易い大会と言うことを痛感致しました。

最後に応援をして下さった県連の皆様、初めてにもかかわらず完璧なる引率をして下さった越川さん、強化稽古会に早朝より万全の準備をして下さいまし

た松任道場の岩森力造名誉会長に深く感謝申し上げます。

ねんりん秋田に参加して

志賀町弓道協会　松平　玄三

９月１２日午後１０時１０分、富来行政センター前到着、秋田から１３時間の移動時間でした。元気に帰ることが出来、お世話頂いた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、競技について、大変恥ずかしいのですが、大舞台での緊張で地に足がつかず、「会」での的付に対し前後に身体が揺れ、定まらぬ「離れ」となりました。

気の弱さや射技の未熟さを再認識した次第です。正射必中、基本に戻り、さらなるけいこをと思うところです。

また、多くの良き弓友が出来たことや、他競技の方との交流など、大変有意義でした。出発前、前年参加の方から「大変いい」「楽しんできまっし」の言葉の意味がやっと理解できました。

６月７日より７回の合同練習、各協会道場での個人練習と３ヶ月間、射技向上の目標に向かって、珍しく懸命に努力する自分にいろいろな刺激が与えられたように思われます。意欲への高まり、あらゆる細胞の活性化など、精神的に肉体的にリフレッシュしたように思われます。有難い刺激でした。

古希を迎える年齢になって「ねんりんピック秋田２０１７」に参加させて頂き、弓の道への意欲、健康づくり、生きがいづくりの新たな発見をする良い機会を得ました。

石川県弓道連盟、ゆうゆうクラブの皆様方、そしてわが町の協会の皆様方に感謝申し上げます。

ねんりん秋田弓道交流大会に参加して

津幡町弓道協会　高島　長治

六月の初めより参加選手の皆さんと７回の強化練習を重ね、お互いに気心も通じ、仲間意識を感じる事が出来ました。良い準備期間となりました。

大会開会式では竿燈や太鼓を始め、地方独特の盛大な演技が有り、我を忘れて見入ってしまいました。

大会の成績は残念でした。力不足と平常心に欠けた自分の射を一から出直しと反省しております。

毎年全国から高齢の皆さんが集まり、若年に負けないきびきびとした動作で技を競い、また楽しむ、その中の一人として貴重な体験をさせて頂いたことを感謝しております。良い思い出になりました。

ねんりんピックにまだ参加された事の無い方は、是非参加を目指して頂きたいと思います。

監督の越野さん、引率の越川さんのおかげで日程を無事終えて帰ることが出

来ました。有難うございました。

初めてのねんりんピック弓道全国大会に参加して

金沢市弓道協会　桶谷　正雄

　弓道交流大会の矢渡で射手越野先生の第一介添の大役を無事終え、気持ち良く競技に入れました。

　選考委員の方より秋田行きの打診が有り「エッ！自分が？」と驚き、でも喜んでお受け致しました。

　秋田行きまでの３ヶ月間６回の強化稽古。回を重ねるごとに皆様との距離もちかづき、後半は「桶ちゃん」と愛称で呼ばれるようになり、穏やかな雰囲気。宝達志水町では強化稽古の後、越野先生のご厚意により手打ち蕎麦をご馳走になり、三回もお変わりを致しました。（笑い）

　出発前日は水橋会長、宮本先生、教室生、弓友達と壮行射会を行い、最後は一丁締めで納めました。

出発当日は天候も良く、県庁前を五台のバスで一路秋田へ出発、１０時間バスに乗り、到着後すぐに始まった懇親会の食事はハッキリ言ってがっかりでした。

　総合開会式は天気も良く暑いくらい、１００００人を超す選手の入場行進は迫力満点でした。開会式終了後のアトラクションは重さ５０ｋｇの竿燈３０数基の演舞は見応え満点でしたが、強風で差手の方は大変に見えました。

　大会最終日はホテルの食事へのストレスと成績の反省？を込めて街へ繰り出して美味しいお酒と肴を頂きました。店の外へ出ると我々を歓迎するかのように竿燈の妙技が行われており、これまた感激でした。

　チーム石川の成績はイマイチでしたが、来年の選手団に期待してバトンタッチ致します。

　声援応援して頂きました皆様方、越野監督、引率の越川さんに大、大感謝！です。ありがとうございました。

ねんりん秋田感想文

野々市市弓道協会　小坂　恵美子

　自宅を出てから１２時間かけての秋田県でした。翌日は快晴で開会式は素敵な歓迎で迎えていただきました。

　入場行進は炎天下で３時間待ちましたが、ブラスバンドとコーラスで総勢２００名？近い方が何時間も演奏して、アトラクションも見ごたえのあるものでした。

　夜も竿灯や太鼓・踊りで歓迎していただき名産のお菓子や飲み物で県挙げての心配りに感激しました。

成績は振るわなかったのですが、一緒に参加した仲間の人たちとの交流は思い出に残ると思います。

わたしは、５人でする間合いや動作になかなか追いていけないままに終わりましたが、どんな時でも自分を忘れない平常心が如何に大切か日頃の修練のありかたに気づかされました。

大会では年齢を感じさせない射の方や思わず微笑む動作の方など、楽しい大会でした。

松任道場や練習を付き合っていただいた方々、一緒に参加した皆さまにお礼を申し上げます。

ねんりんピック秋田２０１７に出場して

川瀬　英機

９月８日出発～１２日帰着までの「ねんりんピック秋田２０１７」に出場した感想です。

９月９日は総合開会式・弓道開始式が行われ、１０日は弓道交流大会本番で、秋田県立武道館に到着してまず驚いたのは、弓道競技のために建設されたのではなかろうかと思われる武道館でした。

近的弓道場は全天候型屋内で５０～６０名の観覧席、○×やチーム名の表示も電光表示となっていました、２階に遠的弓道場・柔道場・剣道場が供えられていました、弓道場に隣接して大道場という多目的建物があり、ここが選手たちの休憩所となっており、パーティーションで仕切られて巻藁が１０台備えられた練習所や、各チームにテーブルと椅子が人数分用意され、空いたところに射場の様子をモニターテレビで中継しており、近的弓道場や大道場は全館空調が効いていました。

競技結果について、１０日の予選１回はまあまあの成績でしたが、１１日の予選２回は大変不本意な結果となってしまいました、近的弓道場は天井も高く、射場は石川県武の１．５倍ほどもある広さですが、矢道の照明が今一で、それに歳による視力の減退が加わり、矢飛びや矢所がわかりにくく、行射後に聞いたところ、外れ矢は的の上に付いていたそうでした、後になって考えてみたら、空調の効いたところに弓を何時間も置いたため弓力の変化があったのでは、と反省しています。

会場内や市内での「おもてなし」は素晴らしいものでした、至る所に「ねんりんピック」に関する催し物が行われており、『なまはげ太鼓』『竿灯』などの実演や物産品の即売所などが多くあり、こちらの方では十分に満足出来たし、チームの皆さんとも和気あいあいの５日間でした。

ねんりんピック秋田２０１７に参加して

加賀市弓道協会　蔦井　久子

今回、交代選手として参加させて頂きました。水橋県連会長、越野監督始め、ゆうゆう会員の皆様に感謝しております。
秋田での開会式当日、号外で１万人の更新や整列している写真を見て、感動しました。又大会役員、ボタンティアの皆さんの笑顔での対応に癒やされて、自分に出来るかなと自問自答も有りました。
最後に、感謝の合言葉を参加された先生方、そして弓友の皆様、有難うございました。

ねんりんピック秋田２０１７弓道交流大会に参加して

羽咋市弓道協会　　藤　田　秀　樹

ねんりんピックに交代選手として初めて参加させていただきました。
９月８日、朝早く羽咋を出発し、県庁前で壮行式を行った後に秋田へ出発しました、道中は天候も良く順調に秋田に到着したが、１０時間以上もかかり疲れました。
９月９日、午前中、秋田県営陸上競技場で行われた総合開会式に参加しました。
朝から快晴で、入場行進し、メインアトラクション「秋田の四季」を鑑賞しました。
中でも「竿灯まつり」を再現した竿灯の演技が感動しました。
午後は、会場を移し、弓道競技の開始式に参加しました。
全国の参加者は都道府県及び政令指定都市から６７チームで選手監督４５７名です。
特別表彰で最高齢者男性９８歳の方を始め、数人の方が表彰されました。
９月１０日、秋田県立武道館・近的競技場でいよいよ交流大会が開始されました。交流試合予選１回戦が行われた後、監督と交代選手の交歓試合が行われ、私も参加しましたが成績は残念で、記念品はいただけませんでした。
９月１１日、交流試合予選２回戦が行われ、石川県選手は残念ながら予選敗退でした。
午後から、秋田市内を散策し、反省会を兼ねた懇親会を行いました。
９月１２日、雨の中、帰路につき、無事に帰ってきました。

参加して感じたことは、私より年齢の高い方が多く選手として元気よく参加されていました。中でも、開始式で表彰された最高齢者９８歳の年齢まで弓を引こうと思えば、まだ３０年間もあります。これからも、健康に留意しながら、今度は選手で参加できるよう頑張りたいと思います。
ねんりんピック秋田２０１７に参加させていただきありがとうございました。
ゆうゆうクラブの役員・関係者の皆様に感謝いたします。

ねんりんピック秋田２０１７弓道交流大会に参加して

石川県選手団　引率　越川　裕一

初めてねんりんピックに参加させて頂きました。

６月７日からの計７回の合同練習を経て、４泊５日の秋田への旅。

大会中、石川県選手団の射はもちろん他チームの射を見ていて、弓を引きたいという思いがフツフツと湧きました。

私が弓道を始めたのは滋賀県彦根市弓道場です。滋賀県選手団には三十数年ぶりにお会いする方が二人いらっしゃいました。話すうちに当時の他の方々の顔を思い出しとても懐かしくなりました。

今回は、残念ながら合同練習や日頃の実力を出すことが出来ず、予選敗退となりましたが、次の機会に挽回しましょう。

気が利かず至らない点が多々あった引率ですが、前任の森坂さんのご指導・行程中は越野監督にお手伝い戴き、又、選手の皆さんのご協力のおかげで職務を全うし帰沢する事が出来ました。有難うございました。

最後に、ゆうゆうクラブ会員の皆さん、全国の弓友か会するねんりんピック、試合である以上石川県の看板は多少重く感じますが、主目標は交流です。開催地の郷土料理やお菓子等の振る舞いも有り、和気あいあいとした大人の修学旅行ならぬ修練旅行です。どしどし出場の名乗りを挙げて下さい。